

月次売上情報

2025年6月期 店頭販売実績

(単位:前年比)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	上期累計
日本	日本計	103%	95%	97%	103%	104%	99%	100%
	店舗	104%	95%	99%	101%	105%	99%	101%
	EC	100%	95%	90%	108%	102%	99%	98%
	日本既存店	102%	94%	95%	100%	103%	96%	98%
	店舗	102%	94%	97%	98%	103%	95%	98%
	EC	101%	95%	89%	109%	105%	100%	99%
韓国	韓国計	91%	81%	84%	80%	88%	86%	85%
	店舗	92%	79%	82%	75%	85%	84%	83%
	EC	84%	88%	94%	119%	110%	103%	100%
	韓国既存店	91%	80%	83%	79%	86%	82%	84%
	店舗	92%	79%	81%	73%	83%	80%	81%
	EC	85%	87%	94%	118%	109%	101%	99%
合計	日本・韓国計	97%	87%	90%	89%	95%	92%	92%
	店舗計	98%	86%	89%	85%	93%	90%	90%
	EC計	94%	92%	92%	113%	105%	101%	99%
	既存店計	96%	86%	88%	88%	93%	88%	90%
	店舗計	97%	85%	88%	83%	91%	86%	89%
	EC計	95%	92%	91%	113%	107%	100%	99%

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期累計	通期累計
日本	日本計								100%
	店舗								101%
	EC								98%
	日本既存店								98%
	店舗								98%
	EC								99%
韓国	韓国計								85%
	店舗								83%
	EC								100%
	韓国既存店								84%
	店舗								81%
	EC								99%
合計	日本・韓国計								92%
	店舗計								90%
	EC計								99%
	既存店計								90%
	店舗計								89%
	EC計								99%

(6月の店頭販売概況)

日本では、夏物衣料の販売が低調に推移したほか、インバウンド売上が落ち込みました。主力ブランドにおいては、ホームコレクションが苦戦した一方で、雑貨や革小物、新作のデニムコレクションが売上拡大に寄与したものの、休日数が前年より1日少なかったマイナス影響もあり、6月全体では前年同月を僅かに下回りました。

韓国では、新大統領が就任して以降、政治的不安は徐々に解消されつつありますが、本格的な景気回復には至っていません。ECにおいてはプロモーション効果もあり、セール販売が好調に推移しました。一方で、百貨店への集客は回復が鈍く、アウトレットでのセール販売が健闘したものの、為替レートの変動による影響もあり、6月全体では前年実績を下回って終了しました。

以上の結果、6月単月の日本・韓国の合計は、前年比92%(店舗90%、EC101%)、既存店の前年比88%(店舗86%、EC100%)となりました。

- (注) 1、 上記のデータは、当社グループの月次で集計可能な国内・韓国における実店舗及びオンラインショップでの販売実績(小売価格)に基づいています。
- 2、 韓国における販売実績は、期中平均の為替レートを使用して円換算しています。